

ソーシャル & エコ・マガジン

ソトコト

概要説明資料

「社会や環境がよくなって、そしておもしろい」をテーマとした、未来をつくるSDGsマガジン。

日本各地の、そして世界のソーシャルグッドな話題を毎回編集して、読者の皆さん、読者の皆さん、ひとりひとりの生活のヒントになる情報をお届けします。

『ソトコト』は類似の媒体がありません。いつもオリジナルのスタンス。ひらめく記事から知識が磨かれ、楽しい行動につながるアイデアが生まれます。

1999年の創刊以来、「スローライフ」「ロハス」「ソーシャル」「ローカル」など、社会をリードするさまざまなキーワードを発信してきました。

現在は編集長の指出一正をはじめ、編集部一同、全国各地で新しい地域づくりの価値観をつくり始めているたくさんの若者たちを尋ね、早くから地域に注目し、「関係人口」の考え方と、その重要性を提唱し、媒体にとどまらず地方自治体で講座やコンサルティングも多く実施しています。

「SOTOKOTO」とは、アフリカのバンツー族のことばで「木の下」という意味。『ソトコト』という木陰で議論しあい、未来につながるいい知恵を生み出そう。そして、それを愉快地伝えていきたい。そんな想いが込められています。



媒体名称:月刊『ソトコト』
発行形態:月刊誌 毎月5日発売
創刊年:1999年6月

発行:株式会社sotokoto online
発売:株式会社RR
編集:株式会社sotokoto online
発行部数:100,000部
判型:A4変型(297mm×230mm)
総ページ数:約150ページ

編集長:指出一正
発行人:大久保清彦
スーパーバイザー:小黒一三



ソトコトオンライン
2019年4月開始

2019年

環境省からの直接指名による「SDGsローカルツアー」全国10ヶ所開催。
コロナウイルスによる自粛により7ヶ所開催にとどまるが、**全会場満員となる動員。**

2020年

編集長 指出一正の各省庁からの委員依頼が増加、地域づくり、関係人口だけでなくSDGs関連でも**国への影響度**がさらに大きくなる。

2020年5月

ソトコトオンライン、2019年4月開設から約1年で、**2020年5月月間200万ユニークユーザー、400万ページビュー**達成。

2021年3月

環境省からの直接指名による「SDGsローカルツアー」全国9ヶ所オンライン開催。**総勢1600名参加。**



地域の伝統工芸品で出来たマスクをオンラインへ掲載したところ、翌日には先方の決済サービスがパンク。



サステナブルなマスクをオンラインへ掲載したところ、各ニュースサイトにも掲載され、2日間で1万枚の注文につながる。



ローカルフード系は、掲載すると必ず売れるとのことで、毎回掲載のご依頼いただいております。

=省庁=

- ・環境省：SDGsローカルツアー（2020年度全国7ヶ所、2021年度全国9ヶ所開催）
- ・内閣府：関係人口創出・拡大に取り組む中間支援組織の提案型モデル事業

=地方自治体=

- ・秋田県湯沢市：ゆざわローカルアカデミー
- ・山形県置賜地区：ライク・ア・バード okitama
- ・山形県小国町：白い森サステイナブルデザインスクール
- ・山形県金山町：カネヤマノジカンデザインスクール
- ・愛知県常滑市：とこなめ農泊観光ブランディング
- ・富山県：とやこと（デジタル応援人口創出プロジェクト）
- ・島根県：しまコトアカデミー
- ・島根県：しまコトアカデミー-DIGITAL
- ・島根県松江市：関係人口創出事業（and YOU）
- ・福井県大野市：みずコトアカデミー
- ・奈良県：奥大和で会いましょう
- ・奈良県：奥大和サステイナブルデザインスクール
- ・奈良県下北山村：むらコトアカデミー
- ・和歌山県田辺市：たなコトアカデミー
- ・高知県津野町：地域の編集学校
- ・大分県別府市：大分で会いましょう
- ・鹿児島県鹿児島市：かごコトアカデミー



=現在=

- ・内閣官房：「水循環の推進に関する有識者会議」委員
- ・内閣官房：「ふるさと活性化支援チーム」委員
- ・内閣官房まち・ひと・しごと創生本部：「わくわく地方生活実現会議」委員
- ・内閣官房まち・ひと・しごと創生本部：「人材組織の育成・関係人口に関する検討会」委員
- ・環境省：「SDGs人材育成研修事業検討委員会」委員
- ・総務省：「過疎地域自立活性化優良事例表彰委員会」委員
- ・農林水産省：「新しい農村政策の在り方検討会」委員
- ・国土交通省：「ライフスタイルの多様化と関係人口に関する懇談会」委員
- ・国土交通省：「リニア中間駅周辺の豊かな地域環境と融合した新たなワークスタイルの創出検討会」委員
- ・UR都市機構：URまちづくり支援専門家
- ・2025年大阪・関西万博日本政府館の基本構想策定業務の情報発信・リサーチクリエイター

- ・福島県郡山市：「こおりやま街の学校」校長
- ・島根県：「しまコトアカデミー」メイン講師
- ・静岡県：「『地域のお店』デザイン表彰」審査委員長
- ・和歌山県田辺市：「たなコトアカデミー」メイン講師
- ・秋田県湯沢市：「ゆざわローカルアカデミー」メイン講師
- ・岡山県真庭市：政策アドバイザー
- ・富山県：「くらしたい国、富山」推進本部本部員

- ・上毛新聞：「オピニオン21」委員
- ・BS朝日：「バトンタッチ SDGsはじめてます」監修

=過去実績=

- ・ 島根県「しまコトアカデミー」メイン講師
- ・ 静岡県「地域のお店デザイン表彰」審査委員長
- ・ 奈良県「奥大和アカデミー」「奈良・下北山 むらコトアカデミー」メイン講師
- ・ 広島県「ひろしま さとやま未来博2017」総合監修。
- ・ 広島県「ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト」全体統括メンター
- ・ 広島県「ひろしま里山ソーシャルカフェ」トータルファシリテーター
- ・ 高知県文化広報誌『とさぶし』編集委員
- ・ 女性の生き方紹介ブック『東京×島根 女子百花』監修
- ・ 「みちのく起業」第二期ファンド選考委員
- ・ 四万十市アドバイザー
- ・ 久米島町アドバイザー

- ・ 「持続可能なライフスタイル及び教育（SLE）」プログラム作業部会委員
- ・ 「リノベーション・オブ・ザ・イヤー2015」審査員
- ・ ソーシャルスタートアップ・アクセラレータープログラム「SUSANOO」メンター
- ・ 地域若者チャレンジ大賞審査員(主催：NPO法人ETIC.)
- ・ エコジャパンカップ&リバイブジャパンカップ審査員
- ・ READYFOR OF THE YEAR審査員
- ・ 国連持続可能な消費と生産10年計画枠組み（10YFP）



指出一正（さしで・かずまさ）

『ソトコト』編集長。1969年群馬県生まれ。上智大学法学部国際関係法学科卒業。雑誌『Outdoor』編集部『Rod and Reel』編集長を経て、現職。

島根県「しまコトアカデミー」メイン講師、静岡県「『地域のお店』デザイン表彰」審査委員長、和歌山県田辺市「たなコトアカデミー」メイン講師、秋田県湯沢市「ゆざわローカルアカデミー」メイン講師、岡山県真庭市政策アドバイザー、富山県「くらしたい国、富山」推進本部本部員、上毛新聞「オピニオン21」委員をはじめ、地域のプロジェクトに多く携わる。内閣官房まち・ひと・しごと創生本部「わくわく地方生活実現会議」委員。内閣官房「水循環の推進に関する有識者会議」委員。環境省「SDGs人材育成研修事業検討委員会」委員。内閣官房まち・ひと・しごと創生本部「人材組織の育成・関係人口に関する検討会」委員。国土交通省「ライフスタイルの多様化と関係人口に関する懇談会」委員。総務省「過疎地域自立活性化優良事列表彰委員会」委員。農林水産省「新しい農村政策の在り方検討会」委員。UR都市機構URまちづくり支援専門家。BS朝日「バトンタッチ SDGsはじめてます」監修。著書に『ぼくらは地方で幸せを見つける』（ポプラ新書）。趣味はフライフィッシング。





大久保 清彦（おおくぼ・きよひこ）

雑誌LEONを企画創刊し創刊副編集長、OCEANS、ローリングストーン日本版などを企画創刊し創刊編集長を経て、セブン&アイ出版常務執行役員の後、株式会社RRデジタルメディアを2018年創業。

家族の幸せ、地方創生、地域活性化やSDGsなどをコンセプトにかかげるMADURO、ソトコト、THE RAKE日本版などの雑誌、オンラインのメディア会社を統括し運営。及びメディアを活用したブランディング、プロモーション、メディアコンサルティング事業を展開。

企画立案～取材編集～雑誌&オンラインメディア展開～拡散プロモーション～ブランディングまでワンストップでコンテンツとソリューションを提供。

こんなことも可能です。

ソトコト



Book in Book 「チビコト」作成

「チビコト」は、月刊ソトコトのBook in Bookとして、ご提案する新メディア。中面見開きでのタイアップ広告誌面と、A5サイズの小冊子「チビコト」を制作し、はさみ込むもの。ユニークかつインパクトの強い誌面企画にて、読者に対してメッセージを発信していくことが可能です。また、別途実費により小冊子のみの抜き刷りが可能です。